

平成18年4月吉日

各 位

函館特別公演お礼

みくにっこ劇団 Rainbow-Kids

代表 松本 真由美

桜の花も咲き誇り春爛漫の今日この頃ですが、皆様方におきましてはますますご清祥のことと拝察いたします。

先日3月27日には、総勢85人で函館入りし、「箱館戦記～新章～静かなる獅子」を函館市芸術ホールにて特別公演を行いました。

小郡市文化会館で1月28日、29日に行いました第4回本公演でも満員のお客様の前で好演し、たくさんみなさまの涙と笑いを誘いましたが、今回も遠く函館の地で700名のお客さまを感動の渦に巻き込むことができたと思っております。はじめはどんな子ども劇団がやってくるのか、半信半疑のお客様方であったようですが、章が進むにつれみなさま方の笑いと涙を十分に誘い、終演後なりやまないほどの拍手をいただき、ただただ感謝の気持ちでいっぱいです。

これもひとえに、みなさまのご支援の賜物だと思います。

本来ならば、お会いして御礼を申し上げるべきところですが、書面にて失礼させていただきます。本当にありがとうございました。

今後もみくにっこ劇団 Rainbow-Kids をどうぞよろしくおねがいもうしあげます。

函館公演

がんばりました。

函館公演が成功できたのもみなさまのおかげです。

本当にありがとうございました。



函館市芸術ホールがほぼ満員でした。終演後拍手が鳴り止まないほどでした。



土方歳三が銃弾に倒れたと言われている地に記念碑があります。



ゆかりの函館で「郷土の偉人」公演

小郡市の児童劇団

福岡県小郡市の児童劇団「みくにっこ劇団レインボーキッズ」は二十七日夜、北海道函館市の市芸術ホールで、明治初期の箱館戦争（一八六八～六九年）で活躍した小郡出身の医師・高松凌雲の生きざまを描いた劇の笑いと涙を誘った。



小郡市出身の高松凌雲の劇を上演した「みくにっこ劇団レインボーキッズ」 二七日夜、北海道函館市

箱館戦争で隔てなく治療 高松凌雲描く

実行委の金山正智委員長（前函館市教育長）は「地元の歴史に詳しい函館市民をうならせる、本格的で熱い舞台だった」と賛辞を贈った。

劇は函館を舞台に、人道主義を貫く凌雲と激しい気性の新撰組・土方歳三が、衝突しながらも最後は心を通わす人間ドラマ。同行した小郡市の和太鼓グループ白鷺会も勇壮な演奏で舞台を盛り上げた。

昨秋、函館市の新聞に紹介されたのをきっかけに、同市に上演を誘致する実行委員会が市民によって立ち上げられ、劇団側が応じた。

演目は「箱館戦記 新章―静かなる獅子」。二〇〇二年結成の劇団は、脚本と演出担当の大平太悟さん（三〇）と、補佐の田中由美さん（三〇）の指導で昨春から凌雲劇の練習を重ね、一月の小郡公演を成功させた。

西日本新聞
平成18年
3月28日
朝刊に掲載
されました。

函館特別公演人員

団員	35	
スタッフ	5	
白鷺会	11	
西日本企画	2	
合計	53	

支 出

支出項目	人数	単価	
旅行代金	14	子人44200	618800
	39	大人49200	1918800
国内保険	51	200	10200
西日本企画	2	80000	160000
白鷺会太鼓送	往復		60000
小道具送料	往復		20000
サンプラー送料	往復		6300
ポスター			21000
函館へお礼		50000	
函館実行委員 解散式出席費	3	50000	150000
雑費			100000
合計			3065100

収 入

自己負担	40	20000	800000
白鷺自己負担	11	30000	330000
小郡支援金			800000
函館支援金			948400
			2878400

$$2878400 - 3065100 = -186700$$

186700円不足の状況です。